

# 草の根・人間の安全保障無償資金協力

## 平成30年度「カスング県カトペ協同組合養蜂設備整備計画」 完工式

2019年12月9日



カトペ協同組合蜂蜜加工センターの完成を祝って、銘板の除幕を行う  
柳沢大使とバグス産業・貿易・観光大臣



(左) スピーチを行う柳沢大使  
(右) 日本政府の支援に対する賛辞を述べるバグス大臣



(左) カトペの蜂蜜を受け取る柳沢大使とバグス大臣  
(右) CADECOMのチャールズ氏からカトペの蜂蜜について説明を受ける柳沢大使



完成したカトペ蜂蜜加工センターの視察を行う柳沢大使とバグス大臣および関係者



伝統的な踊りを披露する、地域女性グループと若者グループ

2019年12月9日、マラウイ国中部カスング県マワワ村にて、被供与団体である「リロングウェ司教区マラウイ・カトリック開発委員会」(CADECOM)の主催により、草の根・人間の安全保障無償資金協力「カスング県カトペ協同組合養蜂設備整備計画」によるカトペ協同組合蜂蜜加工センターの完工式が行われました。式典には、バグス産業・貿易・観光大臣も列席してプロジェクトの完工を祝いました。また、関係者からも日本政府の支援に対する多くの賛辞が述べられました。

日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトを通じて、CADECOM に対して 64,243 米ドルを贈与しました。カスング国立公園付近の住民は、長年に亘って収入を得るために同国立公園の樹木の伐採を行ってきたのですが、CADECOM は、地域住民がこの違法行為をやめて養蜂を通じた代替収入を得ることで、地域住民の生計向上とカスング国立公園の保全をはかれるよう、同プロジェクトを通じて蜂蜜加工センターの建設を行い、養蜂・蜂蜜加工関連器具を設置しました。カトペ協同組合は、地元の農民が組織する組合で、マラウイで最高品質の蜂蜜のひとつと言われる、カトペの花から得られる濃い金色と甘くフルーティーな味わいの蜂蜜を生産しています。

式典で柳沢大使は、コミュニティを発展させるために、マワワ村の人々に自立の精神を培うよう奨励しました。また、カトペ協同組合のメンバーに、懸命に働いて、信頼の於ける透明性のある業務を行うように伝えました。最後に、蜂蜜加工による収益を、贈与された施設や設備の維持管理のためや、他の農産物に付加価値をつけた新たな製品開発のための資金として有効活用するように激励しました。